

議会だより

# かどがわ

January  
2018

1

No.153

あけましておめでとうございます



成人式会場にて

- ・ 産地パワーアップ事業など(補正予算) …2P
- ・ 一般質問 4人が登壇 ……………4P
- ・ こんなことが決まりました ……………8P
- ・ 第5回議会報告会を開催 ……………10P

# 産地パワーアップ事業など

追加2億1323万円 総額77億6110万円

平成29年度  
一般会計  
12月補正予算

## 賛成多数 可決

### 補正による主な事業

**旧五十鈴保育所跡地の運動広場整備事業**  
845万円



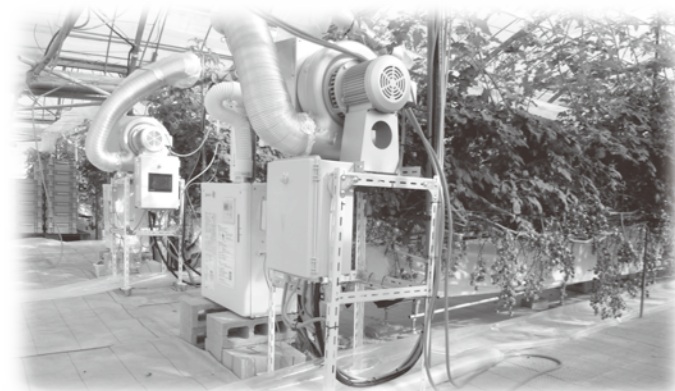
新庁舎建設に伴う平城近隣公園の代替地として整備

**県営広域農道整備負担金**  
2300万円

竹名～中村地区



ミニトマトの高品質・低コスト化、産地維持・拡大の推進、営農戦略  
産地パワーアップ事業 9110万6千円



最新の設備



ミニトマトの養液栽培

#### 一般会計補正予算の審議において討論がありました(内容を要約しています。)

##### 反対討論

今度の旧五十鈴保育所跡地の広場整備事業は新庁舎関連事業である。行政が各種計画を立てて、決定する前に、議会にあげる前にすべきこれらの計画がなされていない。役場内部での総合的かつ基本的なことが検討されてなく、見切り発車だと言わざるを得ない。

##### 賛成討論

新庁舎建設については、住民説明会などで十分な住民の理解を得られていると思う。建設予定地を使用している団体の希望などもあり、その代替地を探していることも先行してやっている。

### 平成29年 第4回定例会

平成29年第4回定例会は、12月5日から12日までの8日間開かれました。本年度一般会計補正予算、条例改正など17議案を可決、意見書1件を採択いたしました。また、6日には、4人が登壇し一般質問が行われました。

#### 一般会計補正予算

(主な歳入)

地方交付税	6482万4千円
国庫支出金	1992万8千円
県支出金	1億276万8千円
諸収入	291万9千円
町債	2070万円

歳出の主な事業は、左ページ

特別会計、公営企業会計補正予算は、  
全員賛成により可決

#### ◎特別会計◎

##### 国民健康保険事業

歳入・歳出	500万8千円(減額)
総額	31億8796万8千円

##### 後期高齢者医療

歳入・歳出	14万2千円(追加)
総額	4億5306万2千円

##### 介護保険事業

歳入・歳出	307万8千円(追加)
総額	17億463万9千円

##### 簡易水道事業

歳入・歳出	166万9千円(追加)
総額	1231万4千円

※残留塩素計の更新

#### ◎公営企業会計◎

##### 水道事業

資本的支出	600万1千円(追加)
※配水管整備事業追加	



# あなたの声を町政に 一般質問 4人が登壇!

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。



水永 正継

## 向ヶ浜の地形の変化が激しいが

町長 防災安全対策に努めていきたい

向ヶ浜の砂の流出、地形の変化が今年になって特に激しい。砂浜がなくなり、人家のすぐ近くで波が砕けるようになった。砂の流出、地形の変化の原因は何か。

町長 向ヶ浜のとき、近くの住民に与える安全上の問題は無いのか。

町長

向ヶ浜は南北に約1キロメートルあるが、南側で広くなり、北側で狭くなっている。昭和40年代以降に細島地区や乙島において堤防や沖防波堤が設置されたので、それに伴う潮流の変化の影響ではないかと推測している。

町長 今日自然災害は大規模化している。関係機関と連携し防災安全対策に努めていきたい。

町長 先の9月議会で西門川小・中学校を平成32年3月末をもって廃止する「町立学校設置条例の一部を改正する条例」が可決された。これを受けて小規模特認校制度を利用できるのは31年度までであることを周知するため。

町長 本町では地元の意向を大切にし、地元の意向を受けて教育委員会が長期計画方針を立て、定例教育委員会において西門川小・中学校の廃止議案が承認された。そして、最終手続きとして学校設置条例の改正を議会に提案し、可決された。



五十鈴川河口から向ヶ浜を望む



向ヶ浜の海岸

町長 議員の一般質問、「議会だより」、「議会報告会」等で町民に周知が図られているものと思う。改めて紹介することは考えていない。

米良 格

## 姉妹都市構想に向けて

町長 まずは、現在の事業拡充

町長 本町は、平成7年から中学生海外派遣事業を実施。海外研修は、グローバル社会への重要な取り組みである。今後、住民・民間主体の交流や気運の高まりを見極め、検討していく。

町長 現在5箇所の候補地を選定し、概算土量の推計、排水対策の検討、地権者調査など実施中。

町長 五十鈴川の堆積土砂の処分

町長 五十鈴川の堆積土砂は、洪水災害の大きな要因となっており、県工事として土砂撤去を行ってきた。

まちづくり推進課長 今後、検討していく。



ホームステイ IN オーストラリア

町長 町内5箇所の候補地を選定し、概算土量の推計、排水対策の検討、地権者調査など実施中。



更生橋上流の堆積土砂



小園井堰下流

町長 英語が「小学3年生から必修」、「小学5年生から教科化」が決定され実施されるが、本町の学校現場での現状は。



外国語指導助手(ALT) アンさんの授業風景

町長 本県では、来年、再来年度の移行期間に、前倒しで英語教育を行う予定で、3・4年生、5・6年生で年間15〜35時間である。

町長 コミュニケーション能力の育成を基本に、地域人材の活用、英語コミュニケーションの雰囲気づくりにボランティア募集も考えていきたい。



神崎 千香子

### 学校廃校・庁舎建設 町民に問うべき

**町長** 十分に検討した

**西門川小中学校廃校**  
町長 町民に問うべき。学校廃校は町民に問うべき。

**町長**  
地元での決断を尊重し、議会の議決を重く受け止め、今後取り組んで行く。

**町長**  
地元の思いを聞き、一緒に考えていくのが行政ではないか。

**町長**  
私なりにいろんな所に顔を出し、対話をしてきた中での結論だ。

**町長**  
西門川小中学校の存続の会の代表から、町長が突然来て会報の内容でいろいろ言われて、偽証罪になると脅されたと聞いているが、事実か。

**町長**  
第三者のことについて、私が答弁することは差し控える。

**町長**  
町特認校だけで学校を存続できないかという意見もあったが、教育委員会は協議したのか。

**教育長**  
西門川小・中学校の児童生徒数を増やすための措置として、行ったので話はしていない。



学校行事親子で花を植栽

**新庁舎建設計画**

**町長**  
町長期総合計画や関連計画にもない庁舎建設は問題があるのでは。

**町長**  
平成25年から、内部プロジェクトで、現庁舎の問題点を始め、防災拠点施設として建て替える必要性の方向を出していた。

**町長**  
防災計画に庁舎の移転・建替えが明記してあることが起債の条件ではない。法令上問題はないのか。

**総務課長**  
11月に防災会議を開催し、29年度から32年度に新庁舎を整備することを追加し、承認を受け防災計画を見直した。

**町長**  
町公共施設等総合管理計画では、維持管理費、改修・更新費とも庁舎より学校施設のほうが

はるかにかかる。このことも加味して新庁舎を検討したか。

**財政課長**  
昨年12月から、もろもろの検討を行った。

**町長**  
町学校、町営住宅の改修・更新も必要となる中、新庁舎に11億円も基金を使うが心配はないか。

**財政課長**  
今、財源として使える基金が42億円ほど。11億7千万円ほどを新庁舎に充てると、あと30億円ある。長期財政計画の中では対応できると判断した。

**町長**  
町自治法第4条で、庁舎建設は住民の利用に最も便利であるように考慮しなければならぬとあるが、まちづくりを含めた検討はされたのか。

**新庁舎建設室長**  
基本構想はまちづく

りを考えながらしている。

**加草中村線**

**町長**  
町例えば都農町のふるさと納税は28年度50億円、門川町は1281万円。都農町のように攻めの行政をすればあわてて庁舎を建てることはない。まちづくりに予算がまわされる。加草中村線も早急に必要道路だ。進捗状況は。

**町長**  
県道認定を求める要望活動を行っている。



加草中村線入口

米良 昭平

### 職員評価基準をどう考えるか

**町長** 給与や任用に反映

**町長**  
町かつての議員研修会で、町職員は町民に行政事務を公平に執行サービスすることが職務の基本と学んだが、職員評価の説明はなかった。評価の基準をどう考えるか。

**町長**  
職員評価は、平成28年4月から実施している。目的は、評価者である管理職のマネジメント能力を高めることと、計画的に人材育成を行うっていくことにある。能力評価と業績評価がある。

**町長**  
能力評価は、職務遂行の知識、対人能力、姿勢・態度などを項目ごとに数値化して評価する。業績評価は、上司と職員が面談して設定した目標に対して、果たすべき役割をどの程度達成できたかを5段階で評価している。成果として、上司と職員の両者のコミュニケーションが図られ、組織の活性化や人材育

**町長**  
成につながると考える。今後は評価の結果を給与や任用に反映させ、適正に評価することにより、組織全体の士気の向上につながる制度になるよう取り組んでいきたい。

**総務課長**  
人事評価は、29年度も継続しており、この制度を活かしながら、最終的には、「行政サービス」の向上、人材育成、「それと」職員の資質の向上に、つながるように取り組んでいきたい。



本庁舎一階の執務風景

## 伝わる広報へ

去る11月30日に、宮崎市で「住民とともに歩み信頼される議会へ」と題した議会広報研修会が、宮崎県町村議会議長会主催で開催され、議会広報編集特別委員会委員全員が研修を受けました。

講師は、宮崎県出身の全国町村議会広報コンクールで審査員を務めた議会広報サポーターの芳野政明氏で、広報紙編集のポイントを全国の優良広報紙などを例に、わかりやすく講義していただきました。講義後に講師から、本町議会広報紙「かどがわ」No.150の個別指導を受け、各ページごとに助言をいただきました。

読者の立場に立った編集で読みたくなる「議会だより」へという講師の言葉のとおり、皆さんに手にとってもらえ読んでいただけるよう、よりよい紙面づくりに努めてまいります。



規約改正

宮崎県自治会館管理組合の解散

宮崎県市町村総合事務組合と宮崎県自治会館管理組合を統合し、総合的に運営することにより、事務局体制の合理化、事務処理の効率化を図るため、宮崎県自治会館管理組合を解散するもの。(可決・全員賛成)

宮崎県自治会館管理組合の解散に伴う財産の処分

宮崎県自治会館管理組合の解散に伴い、所有する財産を宮崎県市町村総合事務組合へ継承するもの。(可決・全員賛成)

(可決・全員賛成)

宮崎県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更、宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び宮崎県市町村総合事務組合の規約改正

宮崎県自治会館管理組合の解散に伴い、宮崎県市町村総合事務組合がその事務処理を行うため、宮崎県自治会館の設置及び管理運営に関する事務を加えると共に、新たな総合事務組合に日向市ほか3市が加入するもの。(可決・全員賛成)

委員会の設置

日向・東臼杵いじめ問題再調査委員会共同設置

「いじめ防止対策推進法」に基づき、学校または教育委員会が行ったいじめの重大事態の調査結果の報告を受けた首長が、再調査が必要と認められた場合に設置できる委員会として、この委員会は、いじめ問題を再調査するため専門性が必要なことから、日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村で共同設置をするもの。(可決・全員賛成)

(可決・全員賛成)

条例の改正

町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

申出時点で過去1年以上継続して雇用されていることなど一定の要件を満たす非常勤職員を、子が最長2歳になるまで、育児休業できる職員に追加し、合わせ、その対象となる子の範囲を拡大等の改正。(可決・全員賛成)

(可決・全員賛成)

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

育児または介護を行う職員について、公務に支障がないと認め

るときに、早出・遅出勤務が可能となる制度の要件を定める等の改正。(可決・全員賛成)

(可決・全員賛成)

町の非常勤の特別職の報酬等に関する条例の一部改正

西門川小中学校が平成32年3月末に廃止されることに伴い、今後の校舎等の利活用や西門川地区の活性化について、検討を行うなど検討委員を追加するもの。(可決・賛成多数)

(可決・賛成多数)

町の一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

国、県に準じ、職員の初任給を1000円引き上げ、若年層においても同程度の改定、その他はそれぞれ400円の改定を基本に職員の月例給を平均0.2%引き上げる給料表の改正。また、勤勉手当の支給月数を0.1月引き上げ、4.4月とするもの。(可決・全員賛成)

(可決・全員賛成)

以下の3つの条例の一部改正は、一般職の職員に対する措置に準じて、それぞれ期末手当の支給割合を0.05月分引き上げるもの。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

町教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

(可決・賛成多数)

意見書

道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

現在、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定により、地域高規格道路等の補助率がかさ上げされているが、この措置は平成29年度までの適用期間となつていくため、今年度末が期限となる。そのため、地域経済の発展や社会全体の生産性向上の直結する道路整備事業でもあることから、今後も引き続き措置継続を強く求めるもの。(採択・全員賛成)

(採択・全員賛成)

質疑・討論

議案の審議過程で、質疑および討論がありましたので、一部を抜粋し、要約しました。

非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正 (報酬を支払う委員に西門川小・中学校校舎等有効活用及び西門川地区活性化検討委員会委員を加える改正)

学校存続統廃合検討委員会には、町長部局は入っていないが、今回入ってくるのはどういうことか。

今回の検討委員会の要綱では、まちづくり推進課と教育総務課が合同で事務局となる。廃校後の校舎等の有効活用と西門川の活性化の検討は、町長部局と協力しながら進めるべきものと思っている。

反対討論

学校をなくす前に西門川地区の活性化に関することについてやれば、西門川が生きてくるのではなかったかと思う。

賛成討論

今度の条例改正は、廃校後の校舎の利用、西門川の活性化についてのもの。

※ラスパイレス指数  
国家公務員と地方公務員の給与水準の比較に用いられる指数。国家公務員を100とする。

一般職の職員の給与条例の一部改正

この改正で、ラスパイレス指数\*はどうか。また、県内での位置は。

他の町村も同様に改定するので、ラスパイレス指数に変化はないと考える。本町の指数は、94.9で県内の市町村では23位という状況。

議案審議前に議案勉強会を行います。以下はその中での質問の一部です。要約しています。

非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正に関して

検討委員会では、成功事例の関係者の意見は聞くのか。

検討委員会設置要綱で、必要があるときは関係者に対し資料の提出、意見、説明等必要な協力を求めることができるとしている。

育児休業等に関する条例の一部改正に関して

男性職員も適用するのか。男性職員の育児休業の実績はあるのか。

適用となる。現時点では男性職員の育児休業の実績はない。

12月定例会 表決表

各議員の審査結果 (○: 賛成、●: 反対、一: 議長) 平成29年12月12日 議決

Table with 14 columns (議員名) and 3 rows (議案内容). Columns include 森誠一, 森川春夫, 米良昭平, 安田茂明, 神崎千香子, 内山田善信, 小林芳彦, 水永正継, 黒木裕, 安藤福松, 請関義人, 菊地稿治, 岩佐祐一, 米良格.

# 第5回議会報告会を開催

# ご参加ありがとうございました



平城東集会所



古川公民館



庵川西公民館

- ◎11月6日(月)  
庵川西公民館(来場者11人)
- ◎11月7日(火)  
古川公民館(来場者31人)
- ◎11月8日(水)  
平城東集会所(来場者10人)

開催会場の区長さんをはじめ、各地区の区長さんには開催にあたりご協力頂きました。厚くお礼申し上げます。

## 皆さんからいただいたご質問です。(抜粋しております。)

### 質問

問庁舎建替は期間が短い。日向市との違いは。

### 答え

答日向市と門川町は財源が違う。日向市は合併特例債、門川町は緊急防災減災事業債で今回この期間が4年に延長された。

問来年の町長選挙と再来年の町議会選挙を同時に出来ないか。議会としての意見は。

答議会の課題として考えていきたい。

問スマートインターチェンジがオープンして、町の活性化の状況は。

答正式な車の台数は出ていない。門川南インターと合わせて1日に400台ぐらいである。

問人口減少の問題は。

答人口減は全国的な問題となっている。地元から人が出ていかないように、門川町に仕事がなければ延岡市、日向市に勤めて門川町に住むようになればよいと思う。

### ご感想やご意見 (参加者のアンケート)

○参加者が少なくさみしい。皆が興味を持つような報告、地元に着した事等が大切である。

○議会活動と事務的問題が重なる点もあり、今後は事務方も説明要員として出席を検討してはどうか。

○報告会を年に3回は必要だと思う。町民とのつながりが大切。

○要望についての具体的な返答がなかった。もっとはっきりしてほしい。今後の議会に期待する。

○会社誘致を。若い人の仕事がない。農水産の仕事をもう少し増やして。

○色々な意見が聞かれて良かった。

### 質問

問庵川の町営住宅の移転後の跡地の利用は。

### 答え

答まだ決まっていない。

問防犯灯が少ない。中学生は学校からの帰りが遅いので防犯灯を早く付けてほしい。

答設置費用がかかり、順番待ちの状況。

問政務調査の報告を臨時号で報告するなどしてもっと詳細に報告してほしい。

答議会だよりの紙面の都合で、現在各常任委員会が1ページになっている。今後の課題として検討したい。

問栄ヶ丘団地町営住宅は何階建てか。津波は大丈夫か。

答5階建てで、津波浸水の最大想定は2階ぐらいまで。5階に避難できる。

問庁舎建設の予算総額はいくらか。国からの補助及び町の基金はいくらか。

答総工費が30億円見込まれている。町の実質負担額が17億8000万円、緊急防災減災事業債の借り入れする元金と利息が20億1000万円、このうち14億円が交付税として戻ってくる。返済額は6億1000万円、これを30年かけて年2000万円ずつ返済していく。

問本町も少子高齢化で税収も減るが、議員定数の削減はできないか。

答全国的にも近隣の市町村から見ても決して多い方ではない。単純に減らせばいいというものではない。住民の声が行政に届きにくくなる。

シリーズ

# 地域の力特集

クレヨンの活動は、図書館行事にあわせ、イベントごとの装飾や年間のテーマを設定して、小さい子どもから大人に向けての読み聞かせをしています。

図書館まつりでの「わくわくどきどきお話し会」、「クリスマス会」、毎月第2・4土曜日のおはなし会を担当し、手あそび、歌あそび、わらべ歌や絵本、大型絵本、紙芝居、パネルシアターなど、子どもたちとおはなしをつなぐ楽しいプログラムで構成しています。

活動は町立図書館おはなし室で行っていますが、依頼があれば、どこへでも行きます。

活動のきっかけは、我が子への読み聞かせから、たくさんの本や人とふれあい、小・中学校の読み聞かせボランティアを経験し、もっと多くの人へ楽しいお話ができれば、また本に親しむきっかけづくりができれば、という思いからです。

今、乳幼児のおはなし会は、次第に広がりを見せています。子育て世代のお母さん方のコミュニケーションの場としても役立っているのではないのでしょうか。

また、読書は人間形成、生涯教育の基礎となる一端となっていくものです。私達の活動も少なからずその役に立っていれば幸いです。これからも多くの町民の方々に図書館を利用していただきたいと願っています。そして、「クレヨン」も知っていただき、興味のある方、おはなしの好きな方に気軽に参加していただければ幸いです。

さらに、より多くの方々に読書への興味を持っていただくため、絵本作家の講演の実現を願っています。

門川町立図書館ぼらんていあ

## 『クレヨン』

会員13人(女性12人、男性1人)

代表は、和田徳子さんです



図書館まつりでの活動の様子



**議場に来てみらんね**

12月議会には7人の方に傍聴いただきました。次回の定例会は3月です。心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局  
TEL 63-1140 (内線271)

## 編集後記

第4回定例会が一般会計補正予算水道事業会計補正予算等を可決し閉会しました。

3地区で第5回議会報告会を開催し活発な質疑応答や意見交換が行われました。今後の議会活動に活かしてまいります。

いよいよ新庁舎建設の設計業務委託契約が締結され、建設に向けて第一歩が踏み出されました。議会としてもその推移を注視してまいります。

終わりに本年も皆様にとりまして輝かしい年になりますようお願い申し上げます。

(記 菊地)

議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 森川 春夫 |
| 副委員長 | 米良 格  |
| 委員   | 小林 芳彦 |
| 委員   | 菊地 稿治 |

■ 発行者／門川町議会議長 森 誠一

■ 編集／議会広報編集特別委員会  
〒889-0696

宮崎県門川町本町1丁目1番地

TEL(0982) 63-1140

■ 印刷／有限会社 第一印刷

